

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
王将フードサービス久御山工場(仮称)原料・資材庫

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.0
Q1 室内環境			0.30			2.3
1 音環境		1.4	0.15			1.4
1.1 騒音		1.0	0.40			
1 室内騒音レベル		1.0	1.00			
2 騒音騒音対策						
1.2 遮音		1.0	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	0.60			
2 界壁遮音性能		1.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0				
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		1.6	0.35			1.6
2.1 室温制御		2.2	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 負荷変動・追従制御性						
3 外皮性能		3.0	0.25			
4 ゾーン別制御性		1.0	0.38			
5 断熱・遮熱制御						
6 個別制御						
7 時間外空調に対する配慮						
8 監視システム						
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30			
3 光・視環境		2.6	0.25			2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30			
1 昼光率		1.0	0.60			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 照明器具のグレア						
2 昼光制御		3.0	1.00			
3 遮り込み対策						
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気環境		3.7	0.25			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆の内装材を使用	4.0	1.00			
2 空気汚染対策						
3 臭気・ばい煙						
4 レジオネラ対策						
4.2 換気		2.3	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33			
4 騒音対策						
4.3 運用管理		5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御	全館禁煙とした	5.0	1.00			
Q2 サービス性能			0.30			2.7
1 機能性		2.3	0.40			2.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30			
1 広さ感・景観		1.0	0.33			
2 リフレッシュスペース	休憩室を設けている	4.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
1.3 維持管理		3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保	適度な水勾配を取り、清掃用流しを設けるなど維持管理機能を確保	4.0	0.50			
3 衛生管理装置						
2 耐用性・信頼性		2.8	0.31			2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.5	0.33			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			

2.4 信頼性		3.2	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	PHS網などにより通信手段の多様化を図っている	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり		4.6	0.31	-	-	
1 階高のゆとり	1階の階高5.300、2階の階高4.500	5.0	0.60	4.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.27	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性		2.5	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性		2.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		1.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	設備器具は省電力型器具の採用に努めた。	3.8	0.43	-	-	3.8
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	ERR=13.4%	3.8		-	-	
集合住宅の評価		3.0		-	-	
4 効率的運用		3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護		2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.63	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤利用、床塩ビシート、断熱材(スタイロフォーム)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア、LGS下地壁、冷蔵庫パネル、断熱パネルの採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	スタイロフォーム(ODP=0、GWP=3)の採用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	運用段階におけるCO2の排出を抑制している	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		4.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3 交通負荷抑制	既存建物地下にて従業員用駐輪場・駐車場が確保できている	4.0	0.50	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	ゴミの計画的な分別回収を行う	5.0	0.50	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		-	-	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		3.0	1.00	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	